

各 位

上場会社名	株式会社 ナガワ
代表者	代表取締役社長 高橋 修
(コード番号)	9663)
問合せ先責任者	常務取締役管理本部長 矢野 範行
(TEL)	048-648-6111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年11月1日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,500	500	600	300	19.69
今回修正予想(B)	18,482	736	868	334	21.98
増減額(B-A)	△18	236	268	34	
増減率(%)	△0.1	47.2	44.7	11.3	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	19,366	391	506	192	12.42

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,400	500	600	300	19.69
今回修正予想(B)	18,458	653	795	297	19.53
増減額(B-A)	58	153	195	△3	
増減率(%)	△0.3	30.6	32.5	△1.0	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	19,402	430	567	232	15.01

修正の理由

(連結)

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用環境、所得環境の改善や設備投資意欲の持ち直し等、一時的に回復傾向にあったものの、円高の影響や個人消費を後押しする政策の終了・縮小などにより足踏み状態となりました。また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災は甚大な被害を与え、今後の景気動向をより不透明にすることとなりました。

ユニットハウス及び建設機械レンタル業界におきましては、国や地方の公共工事が低調に推移し、また民間工事及び設備投資の抑制から民間需要の減少傾向が継続し、依然として同業他社間競争が激しく、総じて厳しい状況で推移いたしました。

このような情勢のなか、ユニットハウス事業におきましては、当社グループは展示場の移設や既存店の統廃合等、全社的なコストダウンと効率化に取り組み、デフレに対応できる経営体質への転換を図ってまいりました。一方で、過年度買収先企業の技術力を活用し、システム建築・プレハブ建築の受注を開始するほか、WEB上での販売サイト「スーパーハウス.jp」を開設し新規顧客の獲得に注力してまいりました。

また、建設機械レンタル事業におきましては、営業エリアである北海道南部建設市場の公共工事請負金額が前年を下回っていくなか、地域に密着した営業活動の強化と貸与資産管理の緻密化による資産効率の向上と固定費の圧縮に努めてまいりました。また、取扱商品の見直しを行い、収益性の高い商品・サービスへの絞込みを行う一方、収益性が低かった建設資材販売を9月で終了するとともに、不採算事業所の閉鎖や人員の再配置を行い、事業効率を高めてまいりました。

この結果、営業利益および経常利益がともに連結業績予想を上回る結果となりました。なお、当期純利益につきましては、この度の震災による、仙台営業所及び貸与資産等の災害損失6千万円を特別損失に計上しております。

(個別)

個別業績予想の修正理由は連結業績予想の修正と同様の理由により、前回発表を修正いたします。

以上